広報
No.676

もりまち

内容
平成25年度予算概要／
公共下水道供用区域拡大／
森の石松まつり大祭／森この人

今月の表紙
石松まつり　盛大に開催

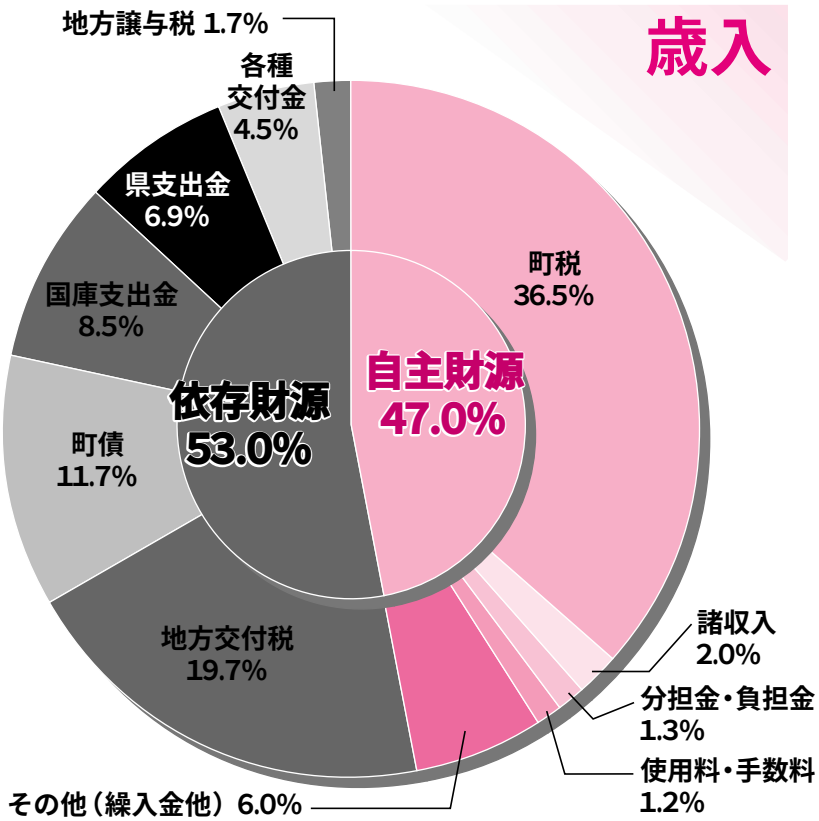
3月24日、3年に一度の大祭「森の石松まつり」が行われ、森町キャンペーンガールらがふんする森の石松・清水の次郎長一家28人衆が森の街中を練り歩きました。（関連記事…9頁）

平成25年4月号
2013

平成25年度当初予算の概要

平成25年度当初予算が、3月の町議会定例会で可決され、4月1日から新年度がスタートしました。町の予算は、一般会計・特別会計・企業会計の予算から成り立っています。ここでは、皆さんにいちばん身近な一般会計予算の内容を紹介します。

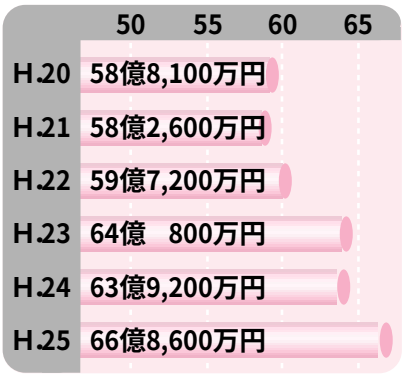
一般会計は 66億8,600万円



◎歳入 （1万円未満切り捨て）

町税	町民税、固定資産税など	24億4,157万円
諸収入	預金利子や雑入など	1億3,353万円
分担金及び負担金	特定事業の受益者が分担負担するもの	8,813万円
使用料及び手数料	各種施設の使用料や手数料など	8,306万円
その他（繰入金他）	基金繰入金や繰越金など	3億9,579万円
地方交付税	国から交付される財源	13億2,000万円
町債	事業などのために借りる財源	7億8,350万円
国庫支出金	国からの補助金など	5億6,885万円
県支出金	県からの補助金など	4億5,902万円
各種交付金	地方消費税やゴルフ場利用税などから交付される財源	3億　152万円
地方譲与税	国から譲与される財源	1億1,100万円

◆一般会計予算の推移（億円）



当初予算額の概要

新東名開通に対応した事業と住民への安心・安全対策に重点

平成25年度一般会計当初予算の総額は、66億8,600万円で、前年度当初予算に比べて2億9,400万円、4・6%増の予算となりました。

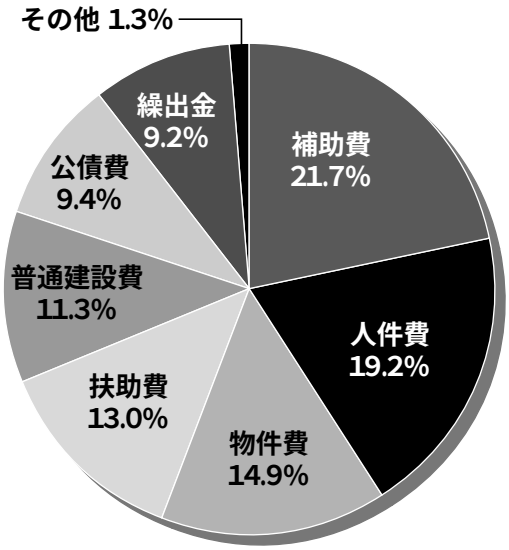
これは、歳出において、遠州森町PAのスマートIC関連事業や天竜浜名湖線新駅設置設計等事業、総合体育館建設基本設計等事業、森町PR映像等制作事業、鈴木藤三郎顕彰100年記念事業、高齢者肺炎球菌予防接種事業などの増加があげられます。このような予算措置を行うことで、新東名開通を契機とした森町のさらなる活性化への道筋を確実にしていくとともに、町民皆さんの安心・安全を確保し、住みやすい町づくりを目指します。

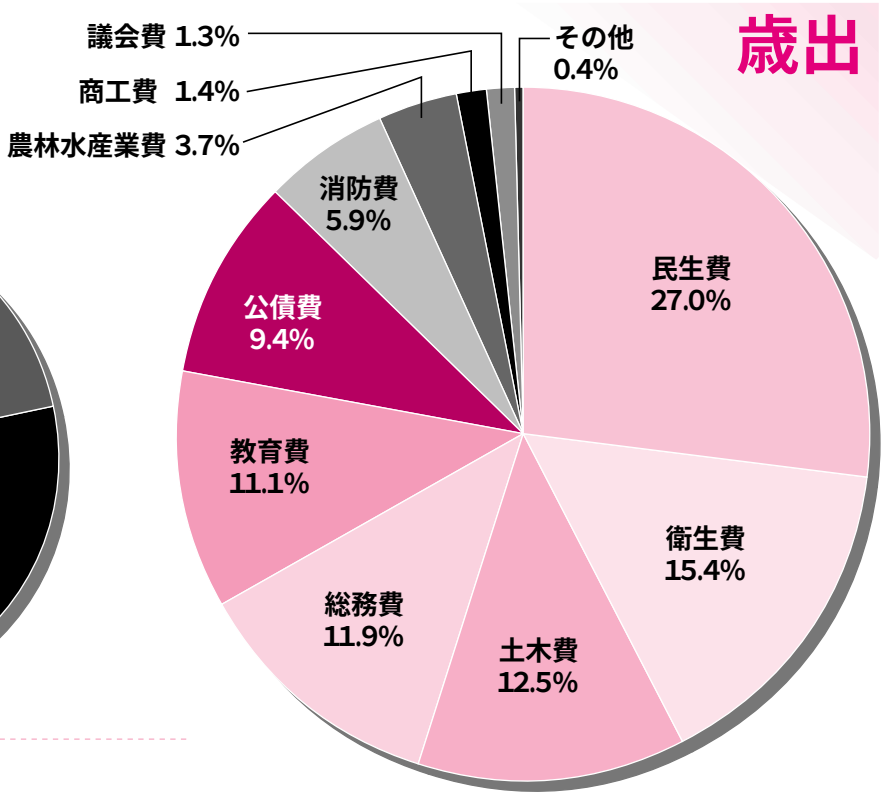
町税は微増、地方交付税は2・2%減少

歳入は、地方財政計画の見込み、前年度の決算見込額および企業業績の状況などを考慮し、町税では、個人住民税について対前年度比1・1%減の8億4,850万円とした一方で、法人税では対前年度比21・7%増の1億4,600万1千円、たばこ税では県と町の配分比の変更に伴い25・0%増の1億円を見込み、対前年度比1・4%増の24億4,157万1千円としました。

また、地方交付税については、法人税の増収分および公務員給与費の臨時特

◆性質別予算グラフ





◎会計別予算

	会計名	当初予算	前年比
	一般会計	66億8,600万0千円	4.6%増
特別会計	国民健康保険	20億3,346万7千円	2.5%減
特別会計	後期高齢者医療	1億8,584万3千円	0.6%増
特別会計	介護保険	17億5,395万5千円	1.2%増
特別会計	公共下水道事業	6億7,299万6千円	67.5%増
特別会計	簡易水道事業 大久保・三倉・大河内特別会計の合計	400万1千円	1.1%減
企業会計	病院事業	33億4,750万0千円	2.9%増
企業会計	水道事業	5億4,907万5千円	6.9%増
	合計	152億3,283万7千円	4.5%増

◎歳出 （1万円未満切り捨て）

民生費	社会福祉の推進など	18億 501万円
衛生費	予防衛生、医療の充実など	10億2,846万円
土木費	道路、河川の整備など	8億3,560万円
総務費	一般的な事務費や選挙費など	7億9,645万円
教育費	学校教育、社会教育の充実など	7億4,394万円
公債費	借入金の返済など	6億2,889万円
消防費	消防、防災対策など	3億9,220万円
農林水産業費	農業や林業の振興など	2億5,021万円
商工費	商工業の振興など	9,624万円
議会費	議会関係の経費	8,528万円
その他	労働費、災害復旧費、予備費など	2,368万円

例措置を考慮し、対前年度比2・2％減の13億2,000万円としました。国・県支出金については、スマートIC関連事業等に係る社会資本整備交付金や参議院議員選挙、県知事選挙執行経費に係る交付金などにより対前年度比1・7％増の10億2,788万5千円を計上しています。

次世代へつながる施策

歳出では、県総合防災訓練事業、天宮神社本殿や友田家住宅の文化財保存修理事業の終了、起債償還額の減などによる減少があるものの、第8次森町総合計画に掲げるまちの未来像「ええら森町」実現に向けた重点化事業の実施のため農林水産業費、土木費、民生費などが増加しています。

現在の地方行財政をとりまく情勢は、国・地方を通じて依然として非常に厳しい財政状況下に置かれているため、町では、自主・自立の観点からも地域との調和を図りつつ、産業の活性化による自主財源確保に努めます。新東名が県内で開通し、大きな変革の時を迎えた中で、県が進める「内陸フロンティア」を拓く取り組みを有効に活用し、次世代へつながる「まちの未来像」を描く基盤づくりの事業や防災対策、医療・福祉の充実、生活基盤整備と将来構想を踏まえた事業を計画し、様々な分野において、効率的・効果的で調和のとれた施策を展開していきます。

「まちの未来像」次世代へつながる5つの柱

第8次森町総合計画の基本理念である「連携と協働」「個性と自立」「調和と創造」「交流と活気」「安心と快適」のまちづくりとまちの未来像「ええら森町」の実現に向け、次世代へつながる効率的・効果的で調和のとれた各種施策を積極的に取り組んでいきます。

ここでは、町長が掲げる政策の5つの柱に沿って今年度の主な事業概要を紹介します。

町のスポーツ振興の拠点、災害時の避難所・緊急物資保管場所として建て替えの設計が始まる中央体育館

❶確かな安全と、こころのやすらぎを感じるまちづくり（医療・地震対策）

●平成8年度に配属した森町消防団第2分団3部、第4分団1部の消防ポンプ車を更新し、地域の防災意識の高揚と早急な消火活動に努めます。（3，273万円）

●県との連携を図り、耐震診断から耐震補強まで一貫した補助制度を活用し、昭和56年5月以前に建てられた木造住宅の耐震化をより一層促進します。（901万円）

●地震対策として、家庭内の家具などの固定を促進し、地震による家具などの転倒による被害を未然に防ぎます。（624万円）

●森町病院が実施する平成22年から25年度までの地域医療再生計画における家庭医研修プログラムに基づく家庭医の養成や地域医療との連携を図るとともに、「第2期病院経営改革プラン」に基づいた経営改革を推進するため、病院事業に繰り出しします。（3億3，000万円）

❷次世代につながる成長の礎づくり（新東名関連の基盤整備）

●新東名遠州森町PAへのスマートICの完成を目指し、住民生活の利便性や救急支援の強化、災害時における防災拠点、地域産業の活性化、観光資源の活用などに有効利用できるよう、接続する町道などの整備を進めます。（1億9，200万円）

●遠州森町スマートICの利用促進を図るため、ETC専用ICの周知用パンフレットや観光ルートマップを作成します。（604万円・新規）

●遠州森町PAを利用する人たちに観光・特産物のPRを行うなど、遠州森町PAを情報発信基地として最大限活用し、町のイメージアップと活性化に努めます。（700万円）

●道路や公園など生活基盤施設の整備を進め、町内外から天宮地区への定住化を図ることにより、森地区全体の活性化に努めます。（6，616万円）

❸子どもいきいき、生きがい実感のまちづくり（子育て、教育、福祉）

●高齢者肺炎球菌予防接種（新規）・子宮頸がんワクチンの無料接種などの予防接種や障害などに応じた福祉サービスへの支援など福祉施策の充実を図ります。（2億8，572万円）

●子どもが欲しいと望んでいるにもかかわらず、不妊で悩んでいる夫婦の経済的、精神的負担を軽減するために、不妊治療費の一部を補助します。（80万円・新規）

●母体や胎児の健康保持のため、妊婦健康診査や乳児健康診査の充実を図ります。（1，438万円）

●0歳から中学3年生までの入院・通院医療費を助成し、子育て世代の経済的な負担軽減を図ります。（5，286万円）

●森町の次代を担う子どもの誕生を祝う「森っ子出産祝い金」を、前年度に引き続き実施し、次世代の森町定住の促進と活力ある

まちづくりの推進を図ります。

●0歳から中学3年生までの次世代を担う子ども一人ひとりの健やかな成長を支援するため「児童手当」を支給します。（3億1,279万円）

●保護者が就労などで昼間留守になる子どもへの健全育成を目的とする放課後児童クラブの運営や延長保育など保護者の働きやすい環境、育児への相談業務など、子育てをしやすい環境の充実を図ります。（3,101万円）

●三倉小学校において、放課後の子どもたちの安全・安心な居場所となる放課後子ども教室を開き、地域の人たちの協力を得て、勉強やスポーツ・文化活動などを行うことにより、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進めます。（150万円）

●国際化時代に対応し、幼・小・中学生の総合的な英語力を培うことにより、次代を担う子どもを育成します。（895万円）

●児童・生徒の国語力を高め、社会の実情を多面的に考え、公正に判断する力を育むために、各小中学校において、教材用としての新聞や図書の充実を図ります。（211万円・新規）

●町民が安全に使用でき、町のスポーツ振興や災害時の緊急物資保管場所として使用する施設として整備を図るため、昭和50年に建設され、老朽化により耐震性が心配される中央体育館の建て替えのための基本設計を実施します。（1,147万円・新規）

4 住みやすく和を感じるまちづくり（生活基盤整備、環境、産業、文化）

●新東名の開通や「遠州の小京都」としての全国京都会議への加盟により、森町に対する注目度が高まる中、町の活性化につながるひとつの手段として、町の産業・文化・観光などを紹介する映像を制作し、町のPR活動に努めます。（500万円・新規）

●森町病院や森町家庭医療クリニック、森町文化会館の利用者への利便性を高めるために、天浜線新駅設置の設計業務を実施します。（2,324万円・新規）

●三倉・天方地区での地域住民との協働による自家用有償旅客運送バスの継続実施や町営バス吉川線の車両更新（新規）、民間路線バス（3路線）、天竜浜名湖鉄道への経営支援を実施することにより、地域の生活の足を確保します。（4,129万円）

●遠州森町PAのスマートIC設置による交通の利便性向上を見据え、スマートICに接続する中遠広域農道において大型車の通行に適した改修を実施します。（5,000万円・新規）

●氷砂糖製造法を発明し、町の偉人として関心が高まる「鈴木藤三郎」の没後100年を記念した講演会などを開催し、その歴史的功績を伝えます。（347万円・新規）

●天方城跡と並ぶ町を代表する飯田城の公園整備を実施し、町の文化財や新たな観光スポットとしてPRをすることで、文化財への理解を深めるとともに、地域の活性化を図ります。（160万円・新規）

5 信頼と絆をつなぐまちづくり（協働、行革、広域行政）

●地域の公共的な課題に、町民が主体的になって取り組む活動に対して補助金を交付する「協働まちづくり推進事業」を継続します。（180万円）

●公共交通機関である天竜浜名湖鉄道線路沿いの清掃活動を実施する団体などへ支援する「レールフレンドシップ事業」を実施し、町民のマイレール意識の向上や利用促進を図ります。（30万円）

●職員の意欲や企画力の向上を図るため、職員研修の充実を図ります。（229万円）

■問い合わせ先
役場企画財政課財政係
☎85-6306

平成25年度一般会計の町民1人当たりの予算

339,012円
（320,706円）

※金額は平成25年3月1日現在の人口（19,722人）で計算しています。
※（　）内は24年度数値

町民1人当たりに使われるお金の主な内訳

民生費	91,523円	(87,123円)
衛生費	52,148円	(51,708円)
教育費	37,721円	(38,143円)
総務費	40,384円	(36,361円)
土木費	42,369円	(35,790円)
消防費	19,887円	(18,296円)
農林水産業費	12,687円	(10,380円)
商工費	4,880円	(5,525円)

教育功労者、スポーツ・文化功績者などを表彰

教育顕彰式が3月9日、文化会館で開かれ、平成24年度に学校教育や地域の社会教育に尽力された教育功労者や、スポーツ・文化活動で輝かしい成果を上げた児童、生徒など31の個人と5つの団体にその功績をたたえて表彰状と記念品が贈られました。また、受賞者を代表して岩附宗一郎さん（泉陽中2年）が磐周児童生徒理科研究作品審査会で金賞を受賞し、県学生科学賞にも出品した「電磁石V　三相発電機2」を発表し、出席者から大きな拍手が送られました。

表彰を受けるスポーツ・文化功績者

発表をする岩附さん

静岡県共同募金会から感謝状

平成24年度の歳末助け合い募金で、多額な浄財を寄付していただいた蓮華寺一隅を照らす会（木村長治会長）と森町建設事業協同組合（岡野良隆理事長）の2団体と花嶋正盛さん（薄場）に対し、県共同募金会会長から感謝状が渡されました。3月8日には、蓮華寺一隅を照らす会が役場を訪れ、村松町長に報告をし、村松町長は「皆さんからの毎年の寄付に感謝します」とお礼を述べました。集められた皆さんからの浄財は森町社会福祉協議会を通して、県共同募金会へ渡され、県内の地域福祉活動のために使われています。

報告に訪れた木村会長（中央）

日本スポーツ少年団創設50周年表彰

3月22日、永年にわたりスポーツ少年団への育成指導や全国スポーツ少年団の模範となる成果をあげるなど、スポーツ振興に多大な貢献をしたことが認められた森町スポーツ少年団の個人や団体に対し、日本スポーツ少年団創設50周年記念事業実行員会からの表彰状がそれぞれに手渡されました。表彰者は次のとおり。（敬称略）

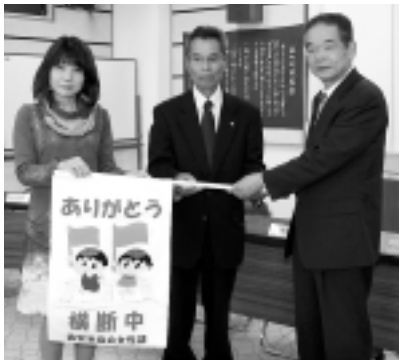
【功労者】
広岡達郎（森町柔道スポーツ少年団）

【団体】
森町柔道スポーツ少年団
森少年野球クラブスポーツ少年団
森町飯田青葉少年野球スポーツ少年団
宮園スポーツ少年団
森町剣道スポーツ少年団
森FCアルゴススポーツ少年団

表彰を受けた皆さん

交通安全協会森地区支部横断旗を寄贈

交通安全協会森地区支部女性部（廣川直子部長）は3月27日、「子どもの交通事故を無くそう」と部員ら手作りの横断旗54本を井上教育長に手渡しました。同支部では毎年、交通安全の啓発品を手作りしており、今回は、同支部のキャラクターである『茶太郎・茶子』が元気に横断歩道を渡っている様子をフェルト地に刺しゅうを加え、「ありがとう横断中」と書かれた車からよく目立つ黄色の旗を作りました。同支部役員や交通安全指導員らがまごころ込めて作った旗は各小学校に配布されます。部員らは「子どもたちの登下校や学校行事にも使ってくれれば。『幸せの横断旗』となるように願っています」と話しました。



井上教育長に横断旗を手渡す鈴木正一会長（中央）と廣川部長

新入学児童に「黄色い帽子」贈呈

森町ライオンズクラブ（佐藤賢一会長）は3月28日、森町教育委員会を訪れ、交通安全の願いを込め新入学児童に贈る「黄色い帽子」の目録を井上教育長に手渡しました。「新入学児童の通学途中の交通事故防止にとの思いで、同クラブが昭和44年から毎年贈り続けている活動です。黄色い帽子は、遠くからでもよく目立ち、通学に慣れていない新入学児童の登下校時の交通安全にとても役立っています。今年も入学式などで、会員たちから町内の全新入学児童159人に帽子が手渡されました。

井上教育長に目録と帽子を手渡す佐藤会長（中央）と中根幹事

役場職員の人事異動

役場では4月1日付で人事異動を行いました。係長級以上の異動をお知らせします。（　）内は前所属

【参事・課長級】

参事（県技術派遣・交通基盤部袋井土木事務所工事課長）**鈴木雅則▽参事（兼）総務課長**（総務課長）**杉山眞人▽参事（兼）保健福祉課長**（保健福祉課長）**瀧下和俊▽会計管理者（兼）出納室長**（上下水道課副参事）**髙木利夫▽上下水道課副参事**（上下水道課課長補佐（兼）上水道管理係長）**三浦　健**

【課長補佐級】

上下水道課課長補佐（兼）上水道管理係長（住民生活課課長補佐（兼）住民係長）**栗田寅夫▽保健福祉課課長補佐（兼）障害福祉係長**（保健福祉課主幹（兼）障害福祉係長）**杉山秀彦▽住民生活課課長補佐（兼）住民係長**（住民生活課主幹（兼）国保年金係長）**幸田秀一▽産業課課長補佐**（建設課主幹（兼）都市整備係長）**村松達雄**

【主幹・係長級】

総務課主幹（兼）広報統計係長（住民生活課主幹（中遠広域事務組合派遣））**松浦　博▽建設課主幹（兼）都市整備係長**（総務課主幹（兼）行政係長）**森下友幸▽住民生活課主幹（中遠広域事務組合派遣）**（産業課主幹（兼）農地管理係長）**鈴木孝佳▽産業課主幹（兼）農地管理係長**（総務課主幹（兼）広報統計係長）**髙山　亮▽保健福祉課保健係長**（総務課職員係主査）**山下浩子▽住民生活課国保年金係長**（住民生活課国保年金係主査）**岩井秀司▽総務課行政係長**（総務課行政係主査）**栗田俊助**

【復興支援のため岩手県大槌町へ派遣】

齋藤公佑

【新規採用職員】

鈴木大二郎（森町病院管理課経営企画係）**▽米倉雅俊**（税務課固定資産税係）**▽髙橋弘毅**（税務課町民税係）**▽菊池直哉**（住民生活課国保年金係）**▽西島雅人**（産業課農業振興係）**▽中尾将士**（産業課林政係）**▽佐々木奈々**（保健福祉課介護保険係）**▽髙橋綾乃**（保健福祉課保健係）**▽長谷川純子**（保健福祉課障害福祉係）**▽松本　薫**（教育委員会社会教育課文化振興係）

【退職】

友田昌宏（会計管理者（兼）出納室長）**▽一木千津子**（文化会館企画管理係主査）**▽鈴木春子**（教育委員会旭が丘中学校用務員）

新規採用職員です。よろしくお願いします！

鈴木大二郎・米倉雅俊・菊池直哉・髙橋弘毅・西島雅人・中尾将士・佐々木奈々・髙橋綾乃・長谷川純子・松本　薫

参事　**鈴木雅則**

今年度は、建設課及び上下水道課を所管する参事を県からお迎えし、技術系分野の充実を図ります。

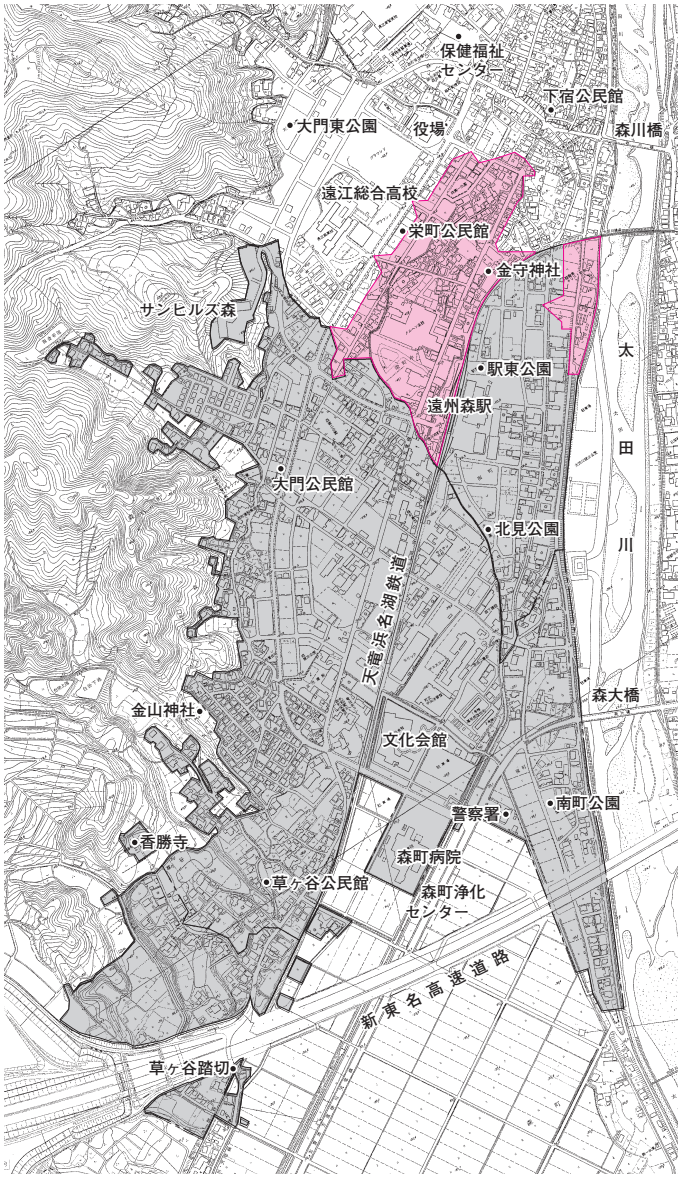
公共下水道への接続をお願いします

3月29日から新たに公共下水道を利用できる区域（供用区域）が広がりました。

公共下水道の供用区域では家庭などから排出される汚水は公共下水道へ流すように義務づけられています。

ここでは、公共下水道を新たに利用できるようになった区域や下水道を利用するための手続きなどについてお知らせします。

●森町公共下水道　供用開始区域図



＝ 新たに供用を開始した区域

＝ 既に供用している区域

1 新たに公共下水道を利用できるようになった区域（供用開始区域）

森地区（下宿・大門・栄町中・栄町上）の一部で、平成24年度に下水道管の工事を行った区域が対象となります。（区域図をご参照ください）

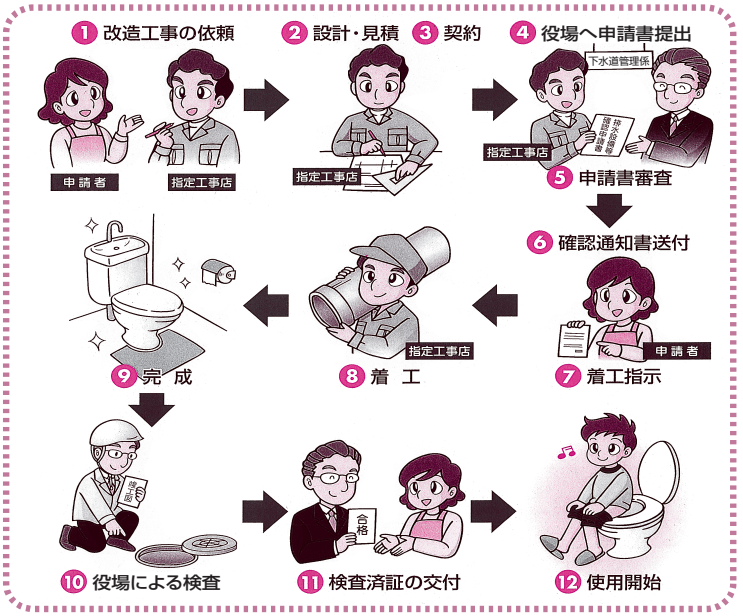
その区域の土地または建物の所有者等（受益者）には別途役場から供用開始などについてのお知らせをします。

2 下水道が供用開始になったら

供用開始になると、その区域では下水道が使えるようになります。対象区域の各ご家庭では、1年以内に排水設備の工事をして、公共ますに排水を接続してください。

また、町では、この排水設備の工事を適正に、かつ、迅速に行うため一定の要件を満たす排水設備業者を「指定工事店」として指定しています。この「指定工事店」でなければ排水設備の工事を行うことができませんのでご注意ください。

3 利用するまでの流れ



町では、快適で住みよいまちづくりのため、公共下水道事業を推進し、順次供用区域の拡大を図っていきます。工事期間中、町民の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、引き続きご理解とご協力をお願いします。

なお、公共下水道の詳細については森町ホームページ（http://www.town.morimachi.shizuoka.jp/gove/jougesui/gesui/gesui_home.html）にも掲載していますので是非ご覧ください。

◎問い合わせ先
役場上下水道課下水道管理係　☎85－6327

「森の石松まつり」大祭

石松道中が町中を闊歩(かっぽ)!!

市街地を歩く石松道中

墓石に献酒する関係者ら

墓前でにぎやかに奉奏する石松囃子

おひけぇなすって!

仮装わんこと記念撮影

森町観光協会会員の大須賀義明さんが浪曲枕を披露

天候に恵まれた3月24日、3年に一度の大祭「森の石松まつり」が盛大に行われました。今年は庵山で出発式が行われ、仮装行列がスタート。待ちに待った大祭ということで、行列を見ようと大勢の見物客が町内の各所に集まり、森町キャンペーンガールやJA遠州中央職員、遠江総合高校の生徒ら若い女性が森の石松、清水の次郎長一家28人衆にふんした石松道中を楽しみました。また、昨年開通した森川橋や桜が色づき始めた天森橋付近は、絶好の撮影ポイントということで大勢のカメラマンが集まり、石松道中を写真におさめていました。

石松道中が大洞院に到着すると、墓前で供養祭が行われ、墓石への献酒や常磐会による石松囃子(ばやし)奉納でイベントは最高潮に。「遠州森の名物広場」では特産品の販売や軽トラ市、甘酒、お茶の無料接待なども行われ、県内外から訪れた石松ファンは大祭を満喫していました。

もりもりトピックス

▲保護者の前で合唱する子どもたち

森小学校で２分の１成人式

森小学校で3月7日、成人まで半分の10歳を迎えたことを記念する「2分の1成人式」が行われ、4年生66人とその保護者らが参加しました。式では、児童らが生まれてから10年間のできごとを年ごとに劇にして振り返ったほか、感謝の気持ちを込めた手紙をそれぞれ保護者に手渡しました。また、児童らは1人ずつ将来の夢を大きな声で発表しました。

大舞台で子どもたちが堂々発表

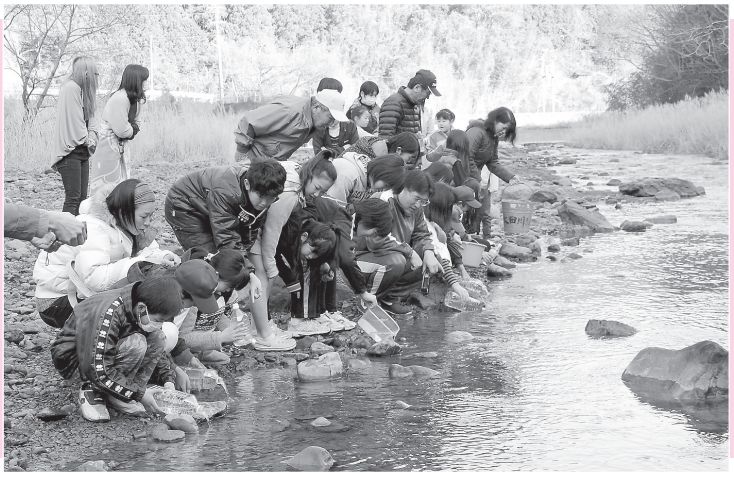
文化会館大ホールで3月10日、第17回子どもの舞台フェスタが開催され、町内のバレエ教室や学校など10団体から約150人の子どもたちが出演しました。子どもたちは、舞楽や楽器演奏、バレエなど、それぞれ日ごろの練習の成果を元気いっぱいに披露。大きな舞台での堂々とした発表に、観客からは盛大な拍手がおくられました。

▲よさこい踊りを披露する子どもたち

▲プレゼントを手渡す園児たち

お返しに心を込めたおくりもの

3月14日、ときわ保育園の年長園児らが豊田合成（株）森町工場を訪れ、社員に手作りのクッキーと交通安全ポスターをプレゼントしました。同工場の従業員は、毎年2月に同園で交通安全を呼びかける「愛のバレンタイン作戦」を行っており、子どもたちはプレゼントを手渡しながら「バレンタインの時はありがとうございました」とお礼を言いました。園児らは他にも袋井消防署森分署や役場を訪れ、プレゼントを贈りました。



▲アマゴを放流する子どもたち

アマゴさん元気に育ってね

宮園小学校の5年生が3月16日、吉川にアマゴの稚魚約400匹を放流しました。稚魚は昨年11月に太田川漁業協同組合（山本俊康組合長）から提供された卵を、児童らがペットボトルに入れ、家庭の冷蔵庫でふ化・飼育したもの。児童らは自分たちが育てた稚魚を大事そうに手に持ち、「元気に大きくなってね」「かわいい」などそれぞれ声をかけながら放流し、元気に泳ぐ稚魚を見送りました。

救命ボート訓練実施

袋井消防署森分署と森町消防団は3月19日、平成24年11月に配備した、災害用救命ボートの取扱い訓練を実施しました。署員や団員らは、森分署に配備しているボートの運搬や着水、乗船などの基本訓練と、実際の救助を想定した訓練を行い、救助活動が迅速に行えるようボートの操船方法を学んでいました。

ボートの運搬訓練▶

◀操船方法を学ぶ署員ら

▲展示に見入る来場者たち

夢づくり大学の成果を発表

森の夢づくり大学の第6回大学祭が3月23日と24日の2日間、文化会館で開催されました。今年度は69講座で延べ700人の学生がそれぞれ興味や関心に合わせた学習を進めてきました。大学祭には約60講座が参加し、学習の成果を発表。会場には書道や生け花などの力作が展示されたほか、ことやオカリナの演奏などが披露されました。また、グラスアートなどの体験コーナーや特別講座もあり、来場者らを楽しませました。

住宅用太陽光発電システムの補助金を交付します

町では地球温暖化防止や新エネルギーの有効利用を推進するため、町内に居住（または居住を予定）し、住宅用太陽光発電システムを設置する人に補助金を交付します。

❶ 補助対象

住宅用太陽光発電システムの設置

❷ 補助額

町の補助額

1戸ごとの住宅用太陽光発電システムのモジュール出力1kW当たり5千円（2万円を限度）

国・県の補助金と併給可能

県の補助金

住宅用太陽光発電設備導入支援事業費補助金（1kW当たり1万5千円、6万円を限度）

❸ 対象期間

平成25年4月1日以降に着工し、平成26年3月31日までに設置を完了するもの

❹ 申請方法など

◆設置者本人または家族の人が、設置開始前に交付申請書等を住民生活課生活保全係まで提出してください。設置完了後に、実績報告書・請求書などを提出すると補助金が交付されます。

◆交付申請書などについては、生活保全係（役場庁舎裏別館）に用意しています。また、町のホームページからもダウンロードできます。

※県の補助金が予算措置の関係（県の予算がなくなった場合など）で受けられない場合は、町の補助額は1kW当たり2万円で8万円を限度として交付します。

問い合わせ先
役場住民生活課生活保全係
☎85-6314

転ばぬ先の知恵袋

新しい事いつはじめるの？今でしょ！

入学や進学、就職と春はいろいろな生活がスタートする季節です。

地域包括支援センターでは、65歳以上の人を対象に、元気もりもりポイント制度（ボランティアポイント制度）を実施しています。

この制度はボランティア活動などを通じて地域貢献や社会活動に参加することで、より健康で生きがいのある暮らしができることを目的としています。現在のボランティア登録者は60人です。町内15箇所の介護保険関係の施設や地域のサロンで活動をしています。

高齢期を元気で過ごすためには、運動、栄養だけではなく、社会参加が有効と県総合健康センターの研究で報告されています。是非、元気もりもりポイント制度に登録してみませんか？

元気もりもりポイント制度事前研修や、地域包括支援センターで行う講座などについては、今後の広報や回覧でご確認ください。また、各戸配付した在宅福祉サービス一覧表の裏面にも講座の案内があります。

ボランティアさんの感想より（抜粋）

●ボランティア登録証を首にかけるだけで、気持ちが引き締まり責任を感じます。スタッフの人達も頼りにしてくれます。ありがたいです。

●気持ち的には老人になることへの不安が少なくなった。外に出て行く事で楽しみが増えた。

●ボランティア活動をすることで、今までと違った出会いがあり、多くの人から元気をもらっています。

問い合わせ先
森町地域包括支援センター
☎85-6341
E-mail:houkatsu@town.morimachi.shizuoka.jp

森この人（ひと）

全国の茶業振興に取り組む！

安井 健一さん
（赤松）

平成22年に静岡県茶業青年団団長、平成23年に全国茶業連合青年団副団長を務めたのち、今年1月から全国茶業連合青年団団長に就任。八幡屋茶舗。44歳

全国茶業連合青年団の新団長として森町の安井健一さんが選出され、今年1月に就任しました。

全国茶業連合青年団は、静岡や京都などのお茶の産地と、東京や大阪などのお茶の消費地の茶業関係者らでつくる団体。全国に1000人ほどいる団員をまとめあげる団長という立場に安井さんは「同団の結成60周年という節目の年にあたるため、大変名誉であると同時に責任の重さを感じています」と感想を語ります。

「たいへん厳しい」とされる近年の茶業界の情勢ですが、その逆境に負けじと「全国茶業連合青年団として、全団一致で茶の普及活動に取り組みたいです。茶業を取り巻く環境の整備を国や県などに働きかけていきたいと考えています」と団長として力強く抱負を語る安井さん。また、緑茶の大きな消費地である東北の皆さんに、東日本大震災以前のように、ゆっくりとお茶を飲んでもらえるようになってほしいとの思いも抱いています。

今までも森町や静岡県の茶業青年団として活動してきた安井さん。これまでの活動の中で特に印象に残っていることは、平成22年度に県茶業青年団の団長をしていた時に、コンサートでの接茶やドラマの撮影など普段できないことを体験できたことと話します。また、町の茶業青年団としては町内の各小学校で毎年開催される「お茶の入れ方教室」への参加など、様々な場所でお茶の普及活動を行ってきました。

安井さんに地元のお茶について尋ねると「九州などの産地におされている最近の静岡茶ですが、もう一度『やっぱりお茶は静岡茶、高級茶は森の茶だな』という時代がくればいいなと思っています。茶の香りの中で生まれ育った森町の皆さんにも、緑茶のよさをもう一度確認してもらい、ここ森町から全国へ、また世界へと、ともにお茶の良さを発信してほしいです」と思いを語りました。

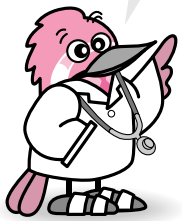
安井さんは、これまでの経験とお茶への熱い思いを胸に、1年間、全国の茶業振興に取り組みます。

MORI-KONOHITO

病院だより

informed consent

身体に関する豆知識や森町病院の情報をお届けします。



公立森町病院 ☎85-2181

新任医師の紹介

森町家庭医療クリニック所長が変わりました。

新所長 藤岡（ふじおか） 洋介（ようすけ）

医師の退職

3月31日付けで外科の太田茂安医師、歯科口腔外科の岩本賢医師、家庭医療クリニックの佐野潔医師が退職しました。

「静岡家庭医養成プログラム」修了証書授与式

3月29日、「静岡家庭医養成プログラム」修了証書授与式が掛川市内において開催されました。

平成22年度から始まった「静岡家庭医養成プログラム」における初めての修了者として、3年間にわたる所定の課程を修了した森町家庭医療クリニック所属の新井大宏医師、中根浩伸医師ら3名の研修医に修了証書が授与されました。

森町家庭医療クリニックの診療体制が変わりました

平成25年4月より診療体制が変わりました。ご理解ご協力をよろしくお願いします。

受付時間

午前8時15分～11時30分
午後1時00分～ 4時30分

診療時間

午前8時30分～12時00分
午後1時30分～ 5時00分

	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	休診	○

森町文化会館 ミキホール（MIKI HALL） 公演ガイド

布施 明 LIVE 2013

6/8(土)

開場 15:30
開演 16:00

ところ：森町文化会館 大ホール

入場料：全席指定 友の会 5,500円 一 般 6,000円

チケット好評発売中！

主催：森町ミキホール文化振興会
チケット販売所：袋井市月見の里学遊館/磐田市民文化会館/磐田市情報館（らら ぽーと磐田1F）/イケヤアピタ掛川店/アクトシティ浜松チケットセンター/遠鉄百貨店（新館7F）/森町文化会館/チケットぴあ(0570-02-9999 Pコード:192-923)

林家たい平独演会

6/30(日)

開場 13:30
開演 14:00

ところ：森町文化会館 大ホール

入場料：全席指定 友の会 3,000円 一 般 3,500円

チケット好評発売中！

主催：森町ミキホール文化振興会
共催：オールドキッズ
チケット販売所：袋井市月見の里学遊館/磐田市民文化会館/磐田市情報館（らら ぽーと磐田1F）/イケヤアピタ掛川店/アクトシティ浜松チケットセンター/森町文化会館/チケットぴあ(0570-02-9999 Pコード:426-763)

宗次郎 コンサートツアー2013 オカリーナの森から

7/27(土)

開場 18:00
開演 18:30

ところ：森町文化会館 大ホール

入場料：全席指定 友の会 4,000円 一 般 4,500円

チケット発売日

友の会	一 般	電話予約
4月20日(土) 9:00～	4月21日(日) 9:00～	4月23日(火) 9:00～

主催：森町ミキホール文化振興会
共催：オフセンター
チケット販売所：袋井市月見の里学遊館/磐田市民文化会館/磐田市情報館（らら ぽーと磐田1F）/イケヤアピタ掛川店/アクトシティ浜松チケットセンター/遠鉄百貨店（新館7F）/森町文化会館/チケットぴあ(0570-02-9999 Pコード:193-288)

チケット購入のご注意

※前売販売で完売の場合は、当日販売はありません。
※未就学児の入場はご遠慮ください。

※各公演の内容などは、都合により変更する場合がありますのでご了承ください。
問 森町文化会館 ☎85－1111（取扱時間9:00～17:00、月曜休館）
※月曜日が祝日の場合は火曜日が休館日

5月 くらしのカレンダー

子ども　相談　文化会館　観光
健康　犬・猫　その他

日	月	火	水	木	金	土
5月の納税など ■固定資産税・都市計画税…第1期分 ■軽自動車税……全期分 **アクティ森イベント情報** ☎85-0115 **ゴールデンウィークイベント** ●5月3日（金）、5日（日） かしわ餅づくり 要予約 ●5月4日（土） 太巻き寿司づくり 要予約 ●5月5日（日） はたらくくるま大集合！ こども安全免許証無料発行 ●5月6日（月） バルーンパフォーマンス お茶つみ体験 要予約 など			**1** 移動児童館 （15:00～16:30） 所 飯田小学校体育館 問 児童館 ☎85-2839	**2** リトミックランド （10:30～11:30） 所 保健福祉センター 問 児童館 ☎85-2839	**3** 憲法記念日	**4** みどりの日
5 こどもの日	**6** 振替休日	**7** 心配ごと相談 （9:00～12:00） 所 保健福祉センター 問 社会福祉協議会 ☎85-5769 保健のしおり交付 （9:30～） 所 保健福祉センター 問 役場保健福祉課 ☎85-6330 森のくまさん広場※	**8** 3歳児健診 （13:15～） 所 保健福祉センター 問 役場保健福祉課 ☎85-6330 人権相談・行政相談 （13:00～15:00） 所 町民生活センター 問 役場住民生活課 ☎85-6312 無料法律相談 （13:30～16:30） 所 町民生活センター 問 役場住民生活課 ☎85-6312	**9** 飼い主のいない犬・猫引取り日 （10:00～10:30） 所 役場別館前 問 役場住民生活課 ☎85-6314 ニコニコ運動教室 （10:00～11:00） 所 保健福祉センター 問 役場保健福祉課 ☎85-6330 すくすくクラブ （10:00～11:00） 所 保健福祉センター 問 子育て支援センター ☎84-4255	**10** 1歳児相談 （9:00～） 所 保健福祉センター 問 役場保健福祉課 ☎85-6330 子育てセミナー （10:00～11:00） 所 保健福祉センター 問 子育て支援センター ☎84-4255	**11** クッキングクラブ （10:00～13:00） 所 保健福祉センター 問 児童館 ☎85-2839
12 結婚相談 （9:00～11:30） 所 保健福祉センター 問 社会福祉協議会 ☎85-5769	**13** ボディートークを楽しむ会 （13:30～15:30） 所 保健福祉センター 問 役場保健福祉課 ☎85-6330	**14** 森のくまさん広場※	**15** 移動児童館 （14:30～16:00） 所 三倉小学校体育館 問 児童館 ☎85-2839	**16**	**17** 2歳6か月児相談 （9:00～） 所 保健福祉センター 問 役場保健福祉課 ☎85-6330 移動子育て支援センター （10:00～11:30） 所 園田総合センター 問 子育て支援センター ☎84-4255	**18** おはなしぷらんこ※ 折り紙教室 （14:30～15:30） 所 問 児童館 ☎85-2839
19	**20** 心配ごと相談 （9:00～12:00） 所 保健福祉センター 問 社会福祉協議会 ☎85-5769	**21** 赤ちゃん健康相談 （9:30～） 所 保健福祉センター 問 役場保健福祉課 ☎85-6330 森のくまさん広場※	**22** 年金相談（要予約） （9:30～12:00） 所 町民生活センター 問 掛川年金事務所 ☎0537-21-5521 移動児童館 （15:00～16:30） 所 宮園小学校体育館 問 児童館 ☎85-2839	**23** 飼い主のいない犬・猫引取り日 （10:00～10:30） 所 役場別館前 問 役場住民生活課 ☎85-6314	**24**	**25** おはなしぷらんこ※ お楽しみゲーム大会 （14:30～15:00） 所 問 児童館 ☎85-2839
26	**27**	**28** 森のくまさん広場※	**29** 移動児童館 （14:30～16:00） 所 天方小学校体育館 問 児童館 ☎85-2839	**30** のびのびクラブ （10:00～11:00） 所 保健福祉センター 問 子育て支援センター ☎84-4255	**31**	

※定期開催
毎週土曜日　おはなしぷらんこ（10:30～11:00）所 問 児童館　☎85-2839
毎週火曜日　森のくまさん広場（11:00～11:30）所 問 子育て支援センター　☎84-4255

相 談

無料法律相談

と き 5月9日㈭ 13:30～16:30
ところ 町民生活センター講義室Ａ
相談内容 金銭貸借、不動産売買、交通事故、離婚、相続など各種の法律問題
予約受付期間 4月25日㈭～8:30～17:15 ※土日祝祭日は除く
予約方法 役場住民生活課へ電話または直接お申込みください。なお、相談者は先着順で6人までです。
その他 相談時間は1人30分以内です。
問・申 役場住民生活課住民係 ✆85-6312

看護職等再就業相談

勇気を出して再出発を!
看護職の資格を持ち、現在就業していない人に、現場経験を持つ看護職が再就職のご相談に応じます。
と き 5月21日㈫ 10:00～14:00
ところ 森町保健福祉センター
費 用 無料
定 員 なし
問・申 静岡県ナースセンター西部支所 ✆・FAX053-454-4335

「金融ほっとライン（東海）」と「多重債務相談窓口」

財務省東海財務局では、金融サービスを利用されている皆様からのご意見、ご相談を無料で受け付けています。
○金融ほっとライン（東海）
✆052-951-9620
また、多重債務でお悩みの人の無料相談窓口を設けています。
○多重債務相談窓口
✆052-951-1764
受付時間 平日 9:00～12:00 13:00～15:00

募 集

小学生～高校生のための夏休み海外派遣 参加者募集

文部科学省所管の（財）国際青少年研修協会では10事業の参加者を募集しています。
日 程 7月25日㈭～8月13日㈫の8～18日間 ※事業により異なる
派遣先 アメリカ、イギリス、オーストラリア、カナダ、サイパン、カンボジア、フィジー
内 容 ホームステイ、ボランティア、文化交流、学校体験、英語研修、地域見学、野外活動など
対象者 小学校3年生～高校3年生 ※事業により異なる
募集締切 6月3日㈪または10日㈪ ※事業により異なる
○説明会（静岡）
と き 5月25日㈯ 14:00～15:30
ところ 静岡勤労者総合会館（静岡労政会館）第2会議室（静岡市葵区黒金町5-1）
その他 予約不要、入場無料
問 ㈶国際青少年研修協会 ✆03-6459-4661、ホームページ http://www.kskk.or.jp

催 し

平成25年度静岡県「看護の日・週間」記念事業

と き 5月11日㈯ 10:30～15:00
ところ 浜松市ギャラリーモール「ソラモ」（浜松駅前広場）
テーマ 「看護の心をみんなの心に」～あなたの力わたしの力再発見～
内 容 健康チェック、健康相談、看護職への進路相談、未就業看護職への就業相談、イベントステージ（バンド演奏、よさこい踊り、いきいき体操など）、アロマハンドマッサージ、写真展、白衣を着て写真撮影、お楽しみバルーン
その他 入場無料、どなたでも気軽にご参加いただけます。
問 静岡県ナースセンター ✆054-202-1761、FAX054-202-1762

平成25年度静岡理工科大学公開講座開催

第1回
と き 5月18日㈯ 13:30～16:30
テーマ 「地元の偉人を知る」
第2回
と き 6月1日㈯ 13:30～16:30
テーマ 「インターネット、そのリスクと可能性」
第3回
と き 6月22日㈯ 13:30～16:30
テーマ 「『iPS細胞』の不思議に迫る」
ところ 静岡理工科大学学生ホール3階300講義室（袋井市豊沢2200-2）
参加費 無料
申込方法 電話またはホームページ（http://www.sist.ac.jp/）からお申込みください。定員250人に達し次第締め切ります。
その他 袋井駅と愛野駅から無料バスを運行します。利用希望者は講座申込みの際にお申し出ください。（先着順）
問 静岡理工科大学総務課 ✆45-0111

お詫びと訂正 広報もりまち3月号10ページ掲載の役場庁舎電話番号案内に誤りがありました。お詫びして訂正します。

（誤）図 書 館	FAX84-0030	85-1111	企画管理係	文化芸術事業運営、文化会館管理ほか
文化会館	FAX85-1115	85-1113	管理係	図書貸出、資料収集ほか
（正）文化会館	**FAX85-1115**	**85-1111**	**企画管理係**	**文化芸術事業運営、文化会館管理ほか**
図 書 館	**FAX84-0030**	**85-1113**	**管理係**	**図書貸出、資料収集ほか**

＊今月号に、訂正した役場庁舎電話番号案内を差し込みましたので、お手元においてご利用ください。

情報ステーション

お知らせ

高齢者肺炎球菌予防接種費用一部助成について

4月1日から高齢者肺炎球菌予防接種費用の一部を助成しています。

この予防接種は、肺炎の中で1番多い肺炎球菌による肺炎などの感染症を予防し、重症化を防ぐものです。1回で5年間は効果が持続すると言われています。接種を希望する人は、是非この機会をご利用ください。

ただし、このワクチンで全ての肺炎を予防できるわけではありません。また、5年以内に再接種を受けると、接種部位の痛み、腫れ、赤みなどが強く現れることがありますので、再接種については医師と十分ご相談ください。

対象者　森町にお住まいで過去5年以内に同じ予防接種を受けていない70歳以上の人（ただし、脾臓を摘出されている人は対象外）

助成費用　接種費用8,000円のうち、町で3,000円を助成

助成回数　1人につき1回限り

医療機関　森町内、袋井市内、旧豊岡村内の協力医療機関

問　役場保健福祉課保健係
✆85-6330

特定不妊治療費助成を始めました

町では4月1日から、少子化対策の一環として、医療保険が適応されない高額な特定不妊治療（体外受精および顕微授精）を受けるご夫婦の経済的負担を軽減するため、治療に要する費用の一部を助成します。

対象者　①法律上婚姻している夫婦②夫または妻のどちらかが森町に1年以上居住していること③夫と妻の合計所得額が730万円未満④静岡県特定不妊治療費補助金の交付を受けることが確定していること⑤町税などを滞納していないこと

助成内容　県の補助を受けた分を差し引いて、1回の特定不妊治療につき10万円を上限として、1年度2回まで助成します。

助成期間　通算5年間（年度は連続する必要なし）

申請方法　平成25年4月1日以降に治療した特定不妊治療で、県特定不妊治療費補助金の確定通知書を受け取ってから30日以内に申請してください。

※詳しくはお問合せください。

問　役場保健福祉課保健係
✆85-6330

未熟児養育医療および自立支援医療（育成医療）の窓口変更のお知らせ

養育医療および育成医療は4月1日から町へ権限が移譲され、町が事業の実施主体となりました。窓口が役場保健福祉課になりますので、申請する際はご注意ください。

問い合わせ先

養育医療：役場保健福祉課保健係
✆85-6330
育成医療：役場保健福祉課障害福祉係
✆85-1800

皆さんにご協力いただいた東日本大震災義援金の額

4,313,378円（3月31日現在）

義援金の送付先

○**役場保健福祉課窓口**（保健福祉センター内）、**役場住民生活課受付窓口**
○**日本赤十字社**
■郵便振替（郵便局）
口座記号番号：00140-8-507
口座加入者：日本赤十字社
東日本大震災義援金

受付期間　平成23年3月12日から受付を開始しているところですが、今もなお多くの義援金が寄せられている現状から、**受付期間を平成26年3月31日まで延長**することになりました。引き続きご協力をよろしくお願いします。

自動車税の納期限は5月31日㈮です

納期限　5月31日㈮

納付場所　金融機関、郵便局、コンビニエンスストア、インターネットバンキングも利用できます

問　磐田財務事務所自動車税班
✆37-2211

中遠クリーンセンター休業のお知らせ

中遠クリーンセンターは、4月29日㈪、5月3日㈮～6日㈪は休業します。

大型連休前後のごみの持ち込みは大変混み合いますので、お早めにお願いします。

問　袋井市森町広域行政組合
中遠クリーンセンター　✆30-0530

不正大麻・けし撲滅運動にご協力を!

県では、毎年5月から6月にかけて、不正大麻・けし撲滅運動を実施しています。

不正けしは麻薬（あへん）の原料となるため、法律で栽培・採取が厳しく規制されています。不正大麻・けしを許可無く栽培していた場合、処罰を受けることがあります。観賞用として栽培している場合でも、処罰の対象となります。

自宅や近所の庭や畑などに、不正大麻・けしと疑われるものを発見した場合は、最寄りの保健所に連絡してください。（メールなどで生育場所と写真を送付していただければ鑑定します）

毎年多く発見されるけし

○**ソムニフェルム種**

鮮やかなピンク色の八重咲きが多い。一重咲きは花びらが4枚で色は赤、桃、紫、白など。葉が茎を抱き込むように、互いちがいに付いている。茎や葉は白味を帯びた緑色で、毛はほとんど無い。

○**セティゲルム種**

花の色は紫色（中央が濃い紫色、外側は薄紫色）が多い。花びらは4枚。葉が茎を抱き込むように、互いちがいに付いている。

問　静岡県西部保健所衛生薬務課
✆37-2245、FAX37-2603、e-メール kfseibu-eiyaku@pref.shizuoka.lg.jp

食推協おすすめメニュー♪

森のレシピ

森町健康づくり食生活推進協議会では「私たちの健康は私たちの手で」をキャッチフレーズに、食生活の改善と健康づくりにつながる料理づくりに取り組んでいます。

茶飯
（1人分:270キロカロリー、塩分0.8g）

材料（4人分）

米……2合
緑茶抽出液……2カップ
（茶葉12g（大さじ2.5）にお湯を注ぎ、2カップにする）
塩……小さじ2／3
酒……小さじ2
粉茶……少々

作り方

①茶葉に湯を注ぎ、抽出液を作る。
②米に①、塩、酒を入れて炊く。
③茶飯を器に盛り、粉茶をふりかける。
＊緑茶の代わりにほうじ茶でもOKです。

鶏だんごのみそ風味鍋
（1人分:573キロカロリー、塩分3.0g）

材料（4人分）

鶏ひき肉……400g
A
- しょうが汁……小さじ1
- 酒……大さじ1
- 水……大さじ2～3
- 片栗粉……大さじ1
- 塩……小さじ1／2

豚こま切れ肉……200g
白菜キムチ……120g
油揚げ……2枚
白菜……1／4株
ニラ……1束
長ねぎ……1本
もやし……1袋
ごぼう……100g
鶏ガラスープの素……小さじ2
B
- 砂糖……大さじ1／2
- しょうゆ……大さじ1
- みそ……大さじ3～4
- ごま油……大さじ1
- にんにくすりおろし……1かけ分

作り方

①ボウルにひき肉とAの塩を入れ、よく練り混ぜる。Aの酒と水を加えて混ぜ、残りも加えて混ぜる。かなり柔らかいたねになる。
②豚肉とキムチは食べやすい大きさに切る。油揚げは2cm角、白菜は葉と軸を分け、軸は3～4cm長さ、葉はざく切り、ニラは3cm長さ、ねぎは斜め薄切り、もやしは洗い水気を切る。ごぼうは皮をこそげ、粗いささがきにし、水にさらしておく。
③大きめの鍋に水8カップと鶏ガラスープの素を入れ、沸騰したら水でぬらしたスプーンで①を適量すくい、形を整え、鍋に落とし入れる。
④③のだんごが浮いてきたら取り出し、ゆで汁はそのままおき、アクが出ていたら除き、混ぜ合わせたBで調味し鍋のスープを作る。
⑤土鍋に②と④を交互に入れる。
⑥⑤の鍋に④のスープを適量注ぎ、ふたをして火にかけ沸騰させ、煮えたものからいただく。

お料理メモ

今月は、茶飯と鶏だんごのみそ風味鍋を紹介します。
茶飯は森町の美味しいお茶でぜひ炊いてみてください。粉茶をふりかけるだけで彩りも鮮やかになります。ほうじ茶で炊いても美味しいです。鶏だんごのみそ風味鍋は、韓国風の味付けで、肉も野菜もどっさり食べられ、キムチの辛みで代謝も良くなり、身体も温まります。鶏だんごのたねをよく練ることでフワフワのおだんごになり、うま味がでるのでスープも美味しくいただけます。

●問い合わせ先　役場保健福祉課保健係　☎85-6330

編集後記　キーボード

▼今回の人事異動で、広報係を離れることになりました。あっという間の4年間。取材を通じて、町内各地へ出向き、多くの人と出会い、お話しすることができ、楽しい日々を過ごすことができました。このことは、広報担当者でなければ経験できなかったと思います。このような日々を過ごせたことに感謝して、後任にバトンを渡します。（高）

▼石松まつりの時にはほとんど咲いていなかった桜は、そこから一気に咲き始め一週間後には満開に。私はちゃんとしたお花見はしませんでしたが、通勤中の信号待ちの時間に、日に日に色づく道端の桜の木を眺めながら春を感じました。（鈴）

人の動き

4月1日現在（　）内は先月比

世帯数……6,399（＋ 7）
人口　男……9,757（－26）
　　女……9,920（－19）
　　計……19,677（－45）

広報もりまち
平成25年4月
第676号 平成25年（2013年）4月15日発行　編集・発行／森町役場総務課
〒437-0293 静岡県周智郡森町森2101-1　TEL.0538-85-6301　FAX.0538-85-5259／印刷 ㈱大進堂
森町ホームページアドレス http://www.town.morimachi.shizuoka.jp
広報もりまちは再生紙を使用しています。